



「やまなし人権啓発出前講座」の積極的な御活用を!



県内の小中学校や市民団体、企業などが山梨県の「やまなし人権啓発出前講座」による講師派遣事業(別紙)を活用して、人権に関する学習会や講演会を開催する機会が最近増えてきています。

その中で、国連NGO横浜国際人権センターの杉藤旬亮会長が講師としての依頼を受けて出向いた最近(今年7月以降)の実績を紹介させていただきたいと思っております。

派遣月日	派遣先	参加者数
7月19日(火)	甲斐市立竜王北中学校	2年生(86人)
8月7日(日)	甲府市廃棄物協業組合、等	同組員等(115人)
8月20日(土)	甲斐市立敷島総合文化会館	甲斐市民等(72人)
8月31日(水)	甲府市立舞鶴小学校	6年生、等(101人)
10月19日(水)	甲府市立羽黒小学校	5年生、教員(96人)
10月24日(月)	笛吹市立富士見小学校	5年生、教員(63人)
〃	笛吹市立浅川中学校	全学年、PTA(600人)
11月2日(水)	甲府市議会議員互助会	市議会議員27人、等
11月5日(土)	甲府市立善誘館小学校	6年生(38人)、等
11月7日(月)	甲府市立新紺屋小学校	4~6年生(86人)等



10月24日の笛吹市立浅川中学校では、全校生徒430人とPTA170人が参加。杉藤講師の50分の講話を真剣に聞き入っていました。

この中で、11月7日に甲府市立新紺屋小学校に出向いて「人権移動教室」を行った後に、同校の校長先生が講師の杉藤会長に送られたお手紙の文面を御了解を得て掲載させていただきます。

木々の緑も見事に色を変え、きれいな紅葉で目を楽しませてくれるようになりました。

夜は、澄んだ空にきれいな星がちりばめられています。

このきれいな星空を眺めながら、杉藤先生の心の中も、きっとこの宇宙のように広く澄んでいるのだろうと、お話しを思い出しております。

先日は、お忙しい中、御講演いただきありがとうございました。

今、社会全体が、自己本位、自己中心的になっており、そういった中で育つ子どもたちが健やかに育つことができるのだろうかと思悩むところです。

(当然、学校もその社会の中にありますので、私達自身もそうやってきているかもしれないということも頭の中に入れておかなければいけませんね。)

しかし、近年、不審者対応で地域の方々に見守りやパトロールをお願いしたり、或いは、地域の方々を中心になり、組織を立ち上げたりするようになりました。

不審者は困りますが、このマイナスが地域との連携や地域の教育力を活かすチャンスになるかもしれないと考えていました。

そして、今年の大震災。本当に甚大な被害に遭遇し、悲しみは計り知れないものがあります。

不謹慎ではありますが、やはり、今こそ、日本人が、日本の社会が変わるチャンスと思っています。

杉藤先生のお話を伺い、先生の情熱に感銘し、心の底から勇気が湧いてくるように感じました。

思うだけでなく、考えるだけでなく、行動に移すことが大切ですね。子どもたちも、どれだけ理解できたか解りませんが、子どもなりに、人との関わり方や自分の生き方について考えてくれたようです。

本当にありがとうございました。また、是非、お話しをうかがう機会があれば願っております。

これから寒くなりますので、お体を御自愛くださいますようお願い申し上げます。

杉藤 旬亮 様

甲府市立新紺屋小学校 校長

〒400-0831 甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房1階事務室
国連NGO 横浜国際人権センター・山梨ランチ

(代表・横山 隆史(全日本同和会山梨県連合会・会長))(TEL・055-243-8563)